

自治連だより川越



- 発行—川越市自治会連合会
- 事務局—川越市役所 地域づくり推進課内
川越市元町1-3-1 Tel 224-5705(直通)
- ホームページ <https://kawagoejichiren.jimdo.com>

主な記事

- 2面…市長から退職役員へ感謝状を贈呈
交通安全教室
ブルーベリーの苗木を配布
- 3面…平成30年度「新任自治会長研修会」
平成30年度ゲートキーパー養成講座
地域活動支援費を交付
- 4面…平成30年度第2回クリーン川越市民
運動（ごみゼロ運動）
回覧板の頒布について
川越市自治会連合会ホームページ開設
編集後記

平成30年7月豪雨災害義援金

本年7月初旬、台風7号及び梅雨前線等の影響により、西日本を中心に甚大な災害がありました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

平成30年8月7日（火）、小野澤康弘議長が川越市議会を代表し、全議員から募った義援金40万円を日本赤十字社埼玉県支部へ届けられました。また、川越市役所では窓口に義援金箱を設置するほか、市ホームページを通じて義援金への協力を呼びかけています。

川越市自治会連合会では、お互いに助け合い支え合うという思いから義援金を募ることとし、8月14日（火）から各自治会で募集を開始しました。

私たち川越市民の温かい心で、被害にあわれた方々に少しでも支援をしていきたいと考えておりますので、何とぞご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、お寄せいただいた義援金は日本赤十字社埼玉県支部川越市地区に寄託し、被災された方々へお届けします。

「緑の募金」の報告と御礼

皆様のご厚意により、平成30年度緑の募金は823万9,930円に達しました。募金は、7月20日（金）に（公社）埼玉県緑化推進委員会へお届けしました。

（公社）埼玉県緑化推進委員会からは、募金額の一定割合が川越市に緑化事業等交付金として交付されます。交付金は、公共施設の植栽や緑のカーテン事業等の緑化推進事業に活用されます。自治会館等の緑化を希望する場合は、下記までお問い合わせください。

川越市環境政策課みどりの担当 電話 224-5866



下久下戸公民館



脇田新町自治会館

市長から退職役員へ感謝状を贈呈

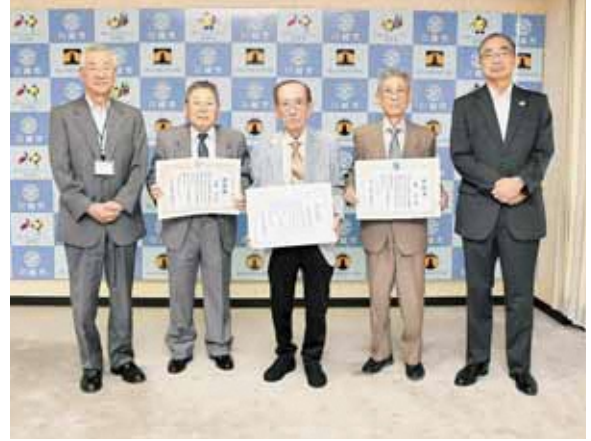
8月28日(火)、川越市役所迎賓室において、自治会連合会退職役員への感謝状贈呈式が執り行われました。今年度は、荻野貴前会長兼常任理事(第1支会長)、原亨前副会長兼常任理事(霞ヶ関北支会長)、井原信義前常任理事(第6支会長)の3名の永きにわたる功績に対し、川合市長から感謝状が贈呈されました。

荻野氏は、平成20年度に第1支会副支会長、平成24年度に第1支会長に就任され、平成27年度に自治会連合会副会長、平成29年度に自治会連合会会長に就任されました。

原氏は、平成23年度に霞ヶ関北支会副支会長、平成24年度に霞ヶ関北支会長に就任され、平成29年度に自治会連合会副会長に就任されました。

井原氏は、平成21年度に第6支会副支会長、平成23年度に第6支会長に就任されました。

本年4月に退任されるまで、荻野氏は10年、原氏は7年、井原氏は9年にわたり、それぞれご尽力いただきました。ありがとうございました。



左から川合市長、荻野氏、井原氏、原氏、本間連合会長

交通安全教室

自治会連合会では、事業計画の一つに「交通安全対策の推進」を掲げています。本事業の一環として、自治会連合会主催の交通安全教室を、7月10日(火)、福原中学校において実施しました。

当日は、福原中学校の生徒、福原小学校の5、6年生が、プロのスタントマンによる交通事故の模擬実演を通して、交通事故の恐ろしさを学びました。また、地域の老人クラブ連合会、交通安全協会、交通指導員、福原小学校安全ボランティア、保護者の皆様には、朝早くからご協力、ご参加いただきまして誠にありがとうございました。地域において多くの方々交通安全対策に取り組んでいただいていることを実感しました。



ブルーベリーの苗木を配布

自治会連合会では、下記のイベントでブルーベリーの苗木配布を実施します。

毎年多くの方にお越しいただいておりますが、数に限りがありますので、予めご了承ください。

健康まつり

日 時：11月4日(日)
午前10時30分から
会 場：ウエスタ川越
配布本数：150本(1家族1本)



昨年の苗木配布の様子

平成30年度「新任自治会長研修会」

自治会連合会では、今年度自治会長の皆様の交代が多かったことを受け、幅広い自治会活動を少しでもスムーズに行っていただけるよう、川越市と共催で「新任自治会長研修会」を開催しました。

9月9日（日）の午前9時から始まった研修会では、「自治会活動の手引」に沿って、福祉推進課をはじめ、環境政策課、資源循環推進課、収集管理課、川越市社会福祉協議会、地域づくり推進課の担当職員の説明の後、質疑応答の時間が設けられました。質疑応答では、多くの質問が出され、活発な研修会となりました。参加いただいた新任自治会長の皆様、お忙しい中ありがとうございました。

また、当日ご参加いただけなかった皆様には、日々の自治会活動の中での疑問、不安点等ありましたら、川越市自治会連合会事務局（地域づくり推進課内）、若しくはそれぞれの担当部署にお問い合わせ下さい。



平成30年度ゲートキーパー養成講座

8月8日（水）、川越市保健所において、本庁管内自治会長を対象とした研修が開催されました。講師に臨床心理士の菊池礼子氏をお迎えし、「自殺予防とゲートキーパーの役割」をテーマにご講義いただきました。

「ゲートキーパー」とは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人のことで、いわば「命の門番」とも言われています。

講義では、自殺対策の現状、ゲートキーパーの役割、専門性にかかわらず、ふだんの生活の中でできる行動を起こしていくことが自殺予防につながることを、事例を交えてお話しされました。参加者からは、「わかりやすく勉強になった」との感想が多く聞かれ、大変有意義な研修でした。

今後は、市民センター管内の自治会長を対象とした研修を検討してまいります。

地域活動支援費を交付

自治会連合会では、地域住民の福祉の増進及び連帯意識の高揚を図るため、各支会が実施する事業を支援しています。

今年度は次の二つの支会が実施する事業に地域活動支援費を交付することに決定しました。

第11支会 地域ふれあいまつり

AED実技講習・自転車シミュレーター体験・プロの指導者によるラジオ体操など、子ども、大人、お年寄りが自由に参加できる世代間交流推進事業を実施する。

名細支会 名細地区防犯パトロール事業

安全安心な地域づくりと青少年の健全な育成を図るため、自治会をはじめとした地区内の各種団体が協力し、自主防犯の取組を推進する。

平成30年度第2回クリーン川越市民運動（ごみゼロ運動）

10月28日（日）は、本年度2回目のごみゼロ運動の日です。

ごみゼロ運動は、昭和58年より続いている市内一斉清掃のイベントです。目的は、道路や公園、河川等の公共の場に散乱しているごみや空き缶を拾って片づけるなど、美化清掃活動を体験する中で、ごみを投げ捨てない心を育て、ごみの落ちていない町にしていくことです。市民の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。なお、実施に当たっては、家庭ごみを出さないなどルールを守ってください。

雨天などでの中止の決定は、各自治会の判断となりますので、各自治会へご確認ください。

台風などの災害が予想され全市一斉で中止となる場合は、前日までに川越市ホームページでご案内します。また、資源循環推進課の電話ガイダンスを行います。

事務局：川越市資源循環推進課減量リサイクル推進担当 電話239-6267

回覧板の頒布について

自治会の皆様から回覧板が欲しいとのご要望が多く寄せられております。このたび、500枚ほど回覧板のご用意ができました。事務局にて頒布しておりますので、ご入用の方は事務局（市役所本庁舎3階 地域づくり推進課内）までお越しください。

川越市自治会連合会ホームページ開設

平成21年から運用してまいりましたホームページを本年6月をもって中止しましたが、このたび、新しいホームページを開設しました。

10月1日から公開しますので、ご意見等ございましたら事務局（地域づくり推進課内）までご連絡ください。

URL <https://kawagoejichiren.jimdo.com>



編集後記

平成28年度からスタートした『第四次川越市総合計画』のスローガンは「～人がつながり、魅力があふれ、誰もが住み続けたいまち 川越～」です。

市民部地域づくり推進課が編集し、川越市が発行した『川越市協働指針』には「安全で安心して生活できる地域社会を構築していくためには、「市民の力」と「市民と行政の協力」が不可欠です。」とあります。また、同指針の「用語解説」に「ボランティアとは、福祉、教育文化、保健衛生、医療などさまざまな分野で自発的にかつ個人の能力を生かして無償で社会的活動をする人。」とあります。自治会はボランティア団体の一形態です。

市（行政）と自治会（地域組織）が連携協力して、『第四次川越市総合計画』のスローガンを実現することが必要です。「自治連だより」がその一翼を担えれば幸いです。（H・K）